

けんころ

地方独立行政法人
岐阜県総合医療センター
Gifu Prefectural General Medical Center

- 令和4年9月発行
- 令和4年 秋号
- 発行責任者 桑原尚志
- 編集 総合医療センター広報委員会

ご挨拶

岐阜県総合医療センター
理事長兼院長

桑原 尚志



2022年4月より地方独立行政法人岐阜県総合医療センター理事長兼院長を拝命しております。桑原尚志でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

コロナ禍やウクライナ問題で社会は激変し、日々の生活は大きく変化しました。医療においては、マイナンバーカードの健康保険証利用や遠隔診断（治療・AI診断（治療）等）がますます進むことでしょう。また保険制度上は、かかりつけ医と紹介受診重点医療機関の「外来の機能分化」がこれまで以上に重視されることが確実に視されています。この「外来の機能分化」についてですが、コロナ第7波において、当センター単独ですべての受診要望に応えることが困難なことが発生し、かかりつけ医との「外来の機能

分化」が重要ということが再認識されました。コロナ感染以外の一般診療についても、かかりつけ医の存在がこれまで以上に皆さんの大きな安心材料になることは確実です。当センターを既に受診されている方も、これから受診される方も是非かかりつけ医を決めるようにしましょう。かかりつけ医が決まってもらえない方は、総合サポートセンターに声をかけていただければお手伝いさせていただきますのでどうぞご利用ください。

さて、当センターは来年度に新棟（南棟）をオープンします。新棟1階には複数の最新型放射線治療装置を設置する予定です。これまでより高い精度でがんのみに選択的に照射でき、患者のQOL（生活の質）向上に有用と考えています。2階には病理センターを設け、高度な遺伝子検査を行う予定です。3階には手術室を2室増設する予定です。これまで以上に質の高い高度急性期医療を追求したいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



患者さんの権利と責務

- 患者さんに次の権利と責務があります。
1. 平等に安全で良質な医療を受ける権利
 2. 十分な説明と助言のもとに自分自身の医療を決定する権利
 3. セカンドオピニオンを受ける権利
 4. 個人のプライバシーが守られる権利
 5. 医療従事者と協力して医療に参加する責務

臨床倫理指針

1. 患者さんの人権、意思を尊重し、有益かつ公平な医療を行います。
2. 治療方針の十分な説明と同意に基づいた医療を行います。
3. 患者さんの個人情報と保護し、医療者の守秘義務を遵守します。
4. 治療にかかわる法令を遵守し、ガイドラインに準じた医療を行います。
5. 院内の各種委員会（倫理委員会、治療審査委員会、臓器提供委員会など）の審議結果に基づいた医療を行います。

岐阜県総合医療センターの理念

県民の皆様方に信頼され、患者さん本位の安全で良質な全人的医療を提供します。

岐阜県総合医療センターの基本方針

1. 岐阜県の基幹病院として急性期を中心とした医療を担当します。
2. 科学的根拠に基づく医療の提供と医療安全に努めます。
3. 必要な医療情報を広く公開し、医療の信頼性を確保します。
4. 地域の医療機関や福祉施設との連携を重視します。
5. 迅速かつ確実な医療とともに、効率的な病院運営に努めます。
6. 医学的知識、医療技術の研鑽に努め、医学や医療の進歩に寄与します。

要注意 脂肪肝

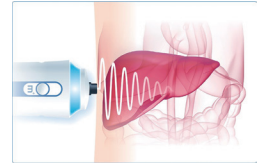
消化器内科主任部長 清水 省吾

皮下や内臓に脂肪が蓄積することはご存じかと思いますが、その肝臓版が脂肪肝です。日本では4人に1人が脂肪肝であり、従来は軽い病気と考えられてきました。中には肝硬変や肝臓がんへと進行する脂肪肝炎があることがわかっています。飲酒をしないかそれほど飲まない場合、非アルコール性脂肪肝炎（NASH:ナッシュ）といいます。

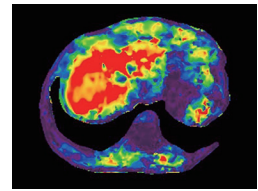
肝臓は“沈黙の臓器”であり、軽度の肝障害では悲鳴を上げませんが、肝硬変にいたると“静かな殺し屋”に変貌し、黄疸などの肝不全を引き起こします。早期に診断することができれば進みを抑えることができます。またNASHは様々な生活習慣病と密接な関係があります。以前は肝生検（肝臓の細胞をとり、病理診断）が主体でしたが、医療機器の進歩により、脂肪肝の程度や肝臓の硬さをはかることができるようになりました（エコー、フィブロスキャン、MRエラストグラフィーで当院も導入されています）。

脂肪肝は放置してはいけない疾患です。検診で指摘されたら、医療機関を受診し、肝臓の評価を受けて、状態に応じた指導や治療を受けることをお勧めします。

当院で導入している検査 （脂肪量、肝硬度）



1. エラストグラフィー
（フィブロスキャン®）



2. MR エラストグラフィー

心臓血管外科疾患における健康増進

—心臓血管外科術後の方々の経過観察からの提言—

心臓血管外科主任部長 森 義雄

心臓・大動脈の外科治療を扱う心臓血管外科は、大動脈解離、心筋梗塞、大動脈瘤破裂、心臓弁膜症など、人工心肺・心停止下に緊急手術が必要な“恐ろしい疾患”がほとんどの診療科です。そのような術後の方々も術後リハビリを早期に実施することで、術後1～2週間程度の早期退院が可能となっています。心臓に病気があるのに運動したら負担がかかるのでは？と不安に思う患者さんも少なくないと思いますが、適度な運動は、筋肉を動かすことで血流が促進され、心臓の負担を減らしてくれます。高血圧・不整脈・血栓予防と心臓血管疾患を持つ患者さんにも有益であると言われています。

大動脈解離、心筋梗塞、大動脈瘤破裂は突然発症し、“まさか私になる”とは思っていなかった“身体に自信のある方”に発症することが多い病気です。ランニング、サーフィン、ゴルフ、テニス、スイミング、畑仕事を定期的に行っている方は、基礎体力がありますので手術を乗り切れば、術後経過も良好です。かつては手術後にスポーツをやめてしまう方が多くみられましたが、無理のないスポーツを継続することで、健康増進とともに心筋虚血（胸部不快感）・心不全徴候（労作時の息切れ）の早期発見に有用であるとお話しています。“まさか”に備えて日々運動することは重要な心がけと言えるでしょう。ただし、大動脈解離、大動脈瘤破裂は、前触れの症状はなく突然に発症します。キーワードは、今まで感じたことのないような、突然の胸痛、胸部不快感、腹痛、腰痛で、冷汗を伴う場合はたとえ血圧が正常でも、“119”に電話をして迅速に対応することが必要です。



初めまして！中央検査部です。

中央検査部部長 滝谷 博志

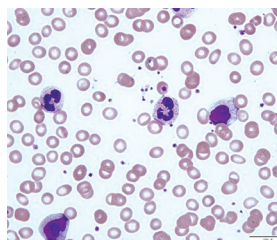
皆さん、臨床検査技師ってご存知ですか？ 中央検査部は、検体検査、細菌検査、生理検査、超音波検査に分かれています。心電図検査や超音波検査を行っている技師や患者さんとは接しませんが尿検査・血液検査・細菌検査を行っているのも臨床検査技師です。また、中央採血室・第2採血室も中央検査部の一部であり、看護師と臨床検査技師が採血業務を行っています。

検体検査室は、尿検査・血液凝固検査、生化学・免疫検査、輸血検査があり、採血された血液や提出された尿などを検査しています。診察時に先生から「血液型はA型ですよ。」「肝臓の数値が高くなっていますね。」「血糖が高いですね。」など説明を受けますが、この結果を出しています。細菌検査では、提出された様々な検査材料から病原菌を検出し、どの治療薬（抗菌薬）が効くのかを検査しています。生理検査では、心電図、脳波、肺機能など体の情報を記録しています。

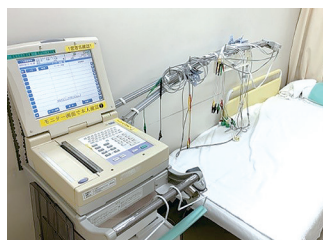
超音波検査は、心臓、腹部、乳腺など超音波を用いて体内の臓器に異常がないかを観察します。いまいちマイナーな臨床検査技師ですが、多岐にわたる業務を50名ほどの技師で、正確な結果を、迅速に出すために日々頑張っています。



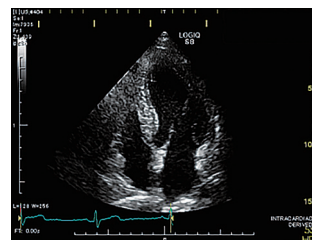
<臨床化学自動分析装置>



<血液像：赤血球と白血球>



<心電図検査室>



<超音波検査：心臓>

「岐阜県総合医療センター健康祭2022」について

副院長 横井 達夫

毎年11月に当センターでは健康祭を行っております。2019年までは、毎年テーマを決め、講演会を中心に、テーマに沿ったミニレクチャー、健康チェックのできる体験コーナー、コンサートを企画して、皆様に参加いただきました。特にバックヤード体験ツアー、小中学生の手術体験、健康弁当等は好評をいただき、是非毎年企画をと、意気込んでおりました。しかし、2020年度はコロナ感染拡大の為、皆様に直接参加いただく企画は中止となり、WEBにて「コロナ禍にあってこそ求めたい健康寿命延伸」をテーマに、6題のセミナーを中心にライブ配信を行いました。その後1か月程オンデマンドで配信いたしました。WEBでは参加者が限られる、高齢の方は参加いただけないのではと心配でしたが、年齢層の偏りはなく、多くの方に視聴いただきました。

さて、今年度はイベントの人数制限が撤廃され、是非健康祭も感染対策をして対面で、皆様に普段見ることができない病院を見ていただく企画を考えておりました。しかし、オミクロン株の流行、特にBA5が流行し、コロナ禍の出口はまだ見えない状況が続いております。その為、今年度もWEBでの開催を11月12日（土）に予定しております。テーマは「やさしい医療」。患者さんに痛み、苦痛の少ない最新の検査、治療の紹介等のセミナーを企画中です。多くの方が視聴できるよう準備を進めてまいります。

オンライン開催！

開催日：11月12日（土）





痛みをはじめとする苦痛緩和の提供

～折り合いをつけながら、その人らしい生活を送れるために～

がん性疼痛看護認定看護師 小倉 亮



がん疼痛はがんの診断時に20～50%、進行がん患者全体では70～80%に存在すると言われており、診断時から終末期にわたって日常生活の質を低下させるつらさの代表的な症状です。

痛みをはじめとする苦痛症状がある患者さんが、苦痛を緩和することで安心して治療を受けられ、その人らしい日常生活を送ることができるようにするために、医師や薬剤師と共に医療用麻薬を含めた鎮痛剤の調整や、それに伴う不安などの相談・アドバイスを行っています。

また、常に患者さんの想いを聞き、その想いが反映されるようなケアを病棟スタッフや多職種と相談しながら実践しています。

近年は、がん以外の病気でも多職種と協力しながら苦痛症状の緩和に力を入れています。がん疼痛を含めた苦痛の緩和により患者さんが許容可能な生活の質を維持し、症状との折り合いをつけながら、その人らしい日常生活を継続できるように患者さんやご家族に支援を行っています。

寄付について

小児病棟での入院や長い通院の子供たちへの支援のための現金、物品等の寄付を頂きありがとうございます。引き続き、県民の皆様

こんにちは 栄養部です

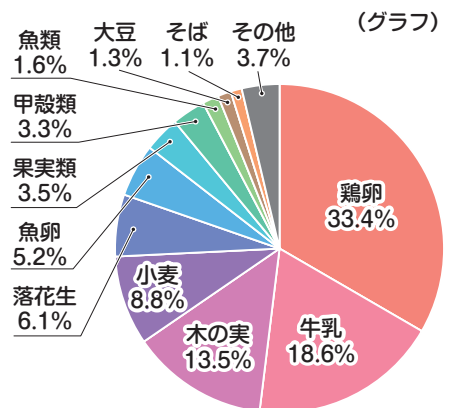
～食物アレルギーについて～

第42回

皆さん、食物アレルギーという言葉が最近よく耳にすると、思います。食物アレルギーとは本来体に害を与えない食物を異物と勘違いし、免疫機能が過敏に働いてしまう現象のことを言います。症状には蕁麻疹やかゆみ、咳などが挙げられます。時にはアナフィラキシーという重い症状がでることがあるので注意が必要です。令和3年度食物アレルギーに関連する食品表示に関する調査研究事業報告では、食物アレルギーの原因の第一位が鶏卵、第二位が牛乳、第三位が木の実、第四位が小麦という結果となっています。(グラフ)

近年、くるみのアレルギーが急増しており、食品に表示義務のある特定原材料(卵・乳・小麦・えび・かに・そば・落花生の7品目)にくるみが追加される方針となりました。アレルギーのある方は食品表示を確認して、購入するようにしましょう。

即時型 食物アレルギーの原因物質



即時型食物アレルギーとは？

原因の食物を摂取して2時間以内に粘膜症状・呼吸症状・皮膚症状・消化器症状・全身症状が現れるアナフィラキシーなどの症状が現れることを指します。

食物アレルギー診療ガイドライン2021より

広報紙「けんこう」第45号をお届けします。

取り上げてほしい情報などありましたら、お気軽にご意見をお寄せください。

岐阜県総合医療センター 広報委員会

〒500-8717 岐阜市野一色4丁目6番1号
 TEL.058-246-1111 FAX.058-248-3805
 Eメールアドレス info@gifu-hp.jp
 ホームページアドレス https://www.gifu-hp.jp